

令和2年度進行管理・評価シート
桐生市 歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和3年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画に関する施策	2
2 景観計画による景観誘導等	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 伝統的建造物公開活用事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 伝統的建造物保存修理事業	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	7
5 本町通り整備事業	8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	9
7 景観阻害物調査改善事業	10
8 伝統産業周知啓発事業	11
9 伝統産業保護育成事業	12
10 地場産業振興事業	13
11 織物体験事業	14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業	15
13 無形民俗文化財伝承支援事業	16
14 歴史まちづくり推進啓発事業	17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業	18
16 歴史的建造物調査活用事業	19
17 歴史文化基本構想等策定事業	20
18 歴史文化資料公開事業	21
19 文化財案内標識整備事業	22
20 観光案内等情報提供事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存又は活用の現況について	24
2 文化財の修理に関する取組み	25
3 文化財の防災に関する取組み	26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 “織都桐生”案内人の会との連携について	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
現在の状況		
計画の推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致維持及び向上を推進するために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県の関係機関との協議を行うとともに、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更と進行管理評価シートに関する意見聴取を図るため、令和2年8月25日、令和3年2月(書面開催)に「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を実施、また令和2年9月11日、令和3年3月(書面開催)に法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

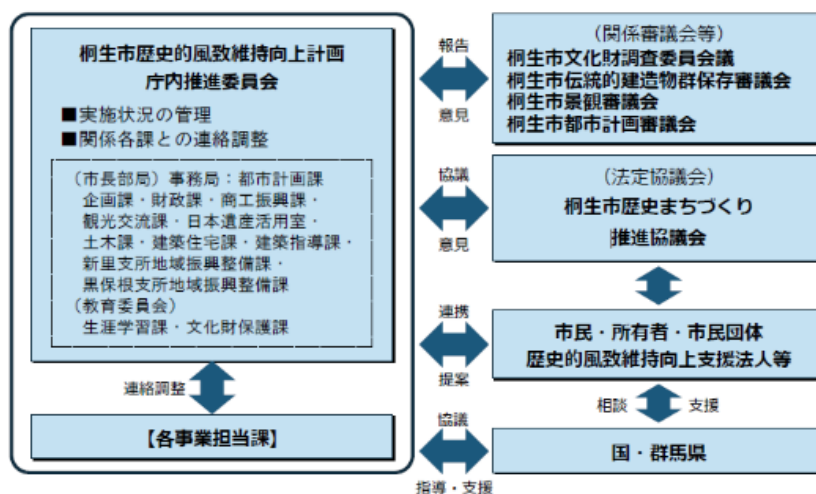
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○第12回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
 (令和2年8月25日(火)開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第13回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
 (令和3年2月書面開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について

○第13回桐生市歴史まちづくり推進協議会
 (令和2年9月11日(金)開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第14回桐生市歴史まちづくり推進協議会
 (令和3年3月書面開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について



協議会の様子(第13回)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
都市計画に関する施策		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めた。 ・桐生市の玄関口である新桐生駅について、首都圏等からの観光需要を見据え、重点区域を含むまちなかへの円滑な誘導と交流人口の拡大による地域活性化を図るため、交通結節点としての機能強化と良好な景観形成による駅前広場整備を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観計画による景観誘導等		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。市域全域を景観計画区域とし、対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。 本年度届出件数:31件(令和3年1月19日現在)うち、重点区域内 1件・歴史景観ゾーン内0件 ・多くの人に景観を意識し、考えていただく機会とするため、景観講演会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。 ・景観の理解を深めていただくため、過去に開催した景観講演会等の内容をまとめ、市ホームページへの掲載や窓口で冊子を配布するなど、周知活動を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



ホームページ掲載状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
伝統的建造物公開活用事業		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○公開施設の保存活用計画の作成

・重伝建地区公開活用施設保存活用計画検討委員会の開催

※令和3年度に保存修理工事実施設計を行うため、保存・活用に対する考え方を整理するため、保存活用計画を作成。検討委員会は、令和元年度に第1回目の会議を行い、令和2年度は引き続き、全3回の検討委員会を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

○今後の事業予定

・保存修理工事実施設計(令和3年度)

・保存修理工事(令和4年度～令和5年度)

状況を示す写真や資料等

●「重伝建地区公開活用施設保存活用計画検討委員会」の開催

【委員構成】

○学識経験者

- ・後藤 治(工学院大学理事長)
- ・木村 勉(長岡造形大学名誉教授)
- ・横内 基(国士館大学准教授)
- ・大里仁一(桐生市文化財調査委員) ※令和2年8月逝去

○地元代表

- ・第1区区长 林進
- ・本町一丁目町会長 中村俊介
- ・本町二丁目町会長 増子相一
- ・NPO法人 本一・本二まちづくりの会 理事長 森壽作

○市関係課

- ・企画課長 ・都市計画課長 ・建築指導課長 ・建築住宅課長
- ・予防課長 ・文化財保護課長 ・観光交流課長

【開催概要】

○第2回

- ・開催日 令和2年7月2日(木) 午後2時から
- ・場 所 桐生市市民文化会館 第1会議研修室
- ・議 題 保存活用計画(案)について

○第3回

- ・開催日 令和2年10月30日(金) 午後2時から
- ・場 所 桐生市市民文化会館 国際会議室
- ・議 題 保存活用計画(案)の修正について

○第4回

- ・開催日 令和3年2月12日(金) 書面会議により開催
- ・議 題 保存活用計画(案)の調整について
- ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面会議に変更

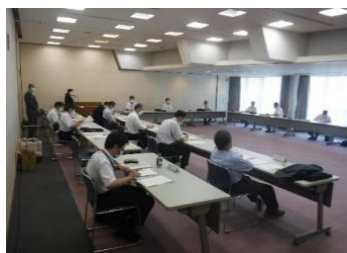
【位置図】



＜桐生新町重要伝統的建造物群保存地区



整備対象建物



第2回、第3回 検討委員会の開催状況

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の意識付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・計画書記載の歴史的風致形成建造物候補18件のうち、下記の2件の建造物について指定を行った(R3年2月5日指定)。 なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織り込んだ桐生織標識を採用した。 ・コロナ禍のため、一部の歴史的風致形成建造物を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネルで配信した。 これまでの指定件数・・・計8件(H30年度:3件、R元年度:3件、R2年度:2件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○指定した歴史的風致形成建造物  指定第7号 旧細谷家住宅  指定第8号 桐生絹織 ○動画配信  YouTubeで公開した動画 (指定第1号 桐生織物記念館)  YouTubeで公開した動画 (指定第2号 群馬大学工学部同窓記念会館)		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
伝統的建造物保存修理事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○重伝建地区内の特定物件1件の保存修理事業を実施

①森宅長屋

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要
状況を示す写真や資料等	

●保存修理事業の状況

【森宅長屋】



修理前



修理中

【位置図】



<桐生新町重要伝統的建造物群保存地区>

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用の促進に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
研修活動については、本計画策定以前から活動を行っており、これまで2期にわたり取り組んできた。平成30年度には、活動成果をまとめ発表会を行い、地区住民などに対し活動成果を披露した。なお、令和元年度以降、本研修活動の参加者が、保存修理事業の設計監理や施工に携ることができ、これまでの活動に対する一定の成果を確認することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	○今後の活動内容や実施体制について ・一定期間の研修を終え参加者それぞれが各現場にて実践の段階に移っており、今後の活動については、実際の現場の中から発生する課題等を整理し検討していきたい。 ○実施体制の課題 ・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たに研修参加が見込めない。		
状況を示す写真や資料等			

●研修活動の参加者が携わった保存修理事業



既存瓦を使用するための選別状況



土壁下地修理状況



瓦葺き施工状況



葺下地修理状況

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
本町通り整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和5年度		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○電線地中化の際に支障となる下水道本管の移設工事を実施(工事期間:R1年度～R2年度) ○本町通り西側歩道下の水路遺構について、電線地中化に伴い抵触する箇所について発掘調査を実施(調査期間:H29年度～R2年度) ○電線類地中化工事を実施(工事期間:R1年度～R4年度)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	工事や調査の実施に伴う、地元や関係機関との調整が課題であり、事業期間内に完了するよう調整に努める		
状況を示す写真や資料等			

●本町通り 道路空間計画イメージ



整備前



本町一丁目

整備後



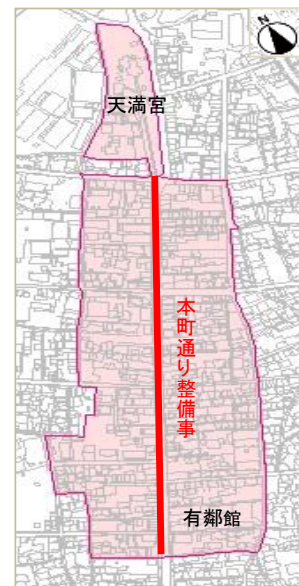
整備前



本町二丁目

整備後

【位置図】



<桐生新町重要伝統的建造物群保存地区>

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	周辺景観に配慮した市道的美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・桐生が岡公園下の未利用広場(藤棚広場)の変遷や野帳図作成等、歴史的価値を調査し、まとめた。 ・市内随一の集客数を誇る桐生が岡公園から近接の桐生新町重伝建地区への回遊性の向上等を目的とした市民ワークショップを踏まえ、桐生が岡公園下の未利用広場(藤棚広場)整備に関する方針や整備イメージの作成を行い、地域住民にニュースレターを配布した。 ・木の伐採、山手通り歩道整備等、一部整備工事に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



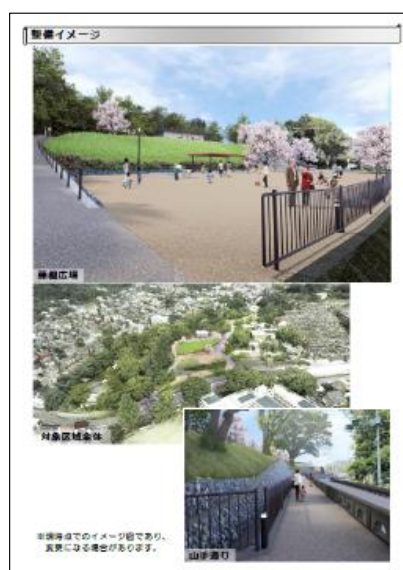
調査の様子



工事の様子



ニュースレター



整備イメージ

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
景観阻害物調査改善事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・屋外広告物の設置基準に適合しないものや未手続の広告物の表示者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。(指導件数26件) ・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
指導前  ➔ 指導後  〔主な改善点〕 ・交差点外縁から5m以上後退し設置した。 ・基準に適合するよう表示面積、表示内容を改修した。			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
伝統産業周知啓発事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施した。また、市のホームページには、桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



企画展の様子



企画展の様子



市のホームページには工程の動画も掲載

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
伝統産業保護育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和39年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業の保護・育成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合に対し補助を行った。 補助金名称: 需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



桐生織物織姫展(R2.10)



桐生織物織姫展



桐生テキスタイルコレクション(R2.10)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
地場産業振興事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和62年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
運営費の補助を行うとともに、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー12/15)、後継者育成を目的とした繊維大学(R2.9～R3.2)など各事業に対して補助を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



2021桐生テキスタイルプロモーションショー
「empathy」
日時: 令和3年3月17日・18日
場所: ヘルサル渋谷ガーデン(東京都渋谷区)



トレンドセミナー



繊維大学 実習の様子

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
織物体験事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○新型コロナウイルス感染症拡大状況により、講師が小学校に出向いての織物体験は中止となった。その代替案として、桐生織物協同組合と桐生織伝統工芸士会の協力を仰ぎ、桐生織と手織り体験についてのDVDを作成し、伝統工芸士に作成してもらったタペストリーとともに各校に配布した。合わせて、講師の講話の中で体験する予定だった「機結び」のキットも各小学校の3年生または4年生の児童数配布し、教室でDVDを見ながら体験できるようにした。毎年配布しているパンフレットと併せて、社会科や総合的な学習の時間に、織物の学習をする際に活用してもらった。(市内17校 約740名) ○新型コロナウイルス感染症拡大状況により、市内中学校特別支援学級の生徒が工房風花に集まって行う手織り体験は中止となった。その代替案として、工房風花から道具を借りて糸を撚る体験を各学校で実施し、繭から糸ができる仕組みを学ぶ機会を作った。さらにその糸を織り込んだコースターを工房風花で製作して対象生徒に配布し、織物の良さにも触れられるようにした。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	今後感染症拡大の状況により、講師が学校に出向いての実施や、道具を共有する活動ができないことが考えられる。今年度同様に、時期や内容(代替案)を検討していく。	
状況を示す写真や資料等		
 学校に送付したDVD ①手織り体験 ②桐生織7つの技法 ③機結び体験  伝統工芸士が作成した タペストリーと機結びキット  工房風花で製作したコースター <学校からの資料活用アンケートより> ○社会科の学習で活用。織物体験の復習として、副読本「わたしたちの桐生」を見直ししながら、DVD視聴とタペストリー提示を行い、桐生織の冊子と「織物を調べよう」(ワークシート)とで学習のまとめをした。「機結び体験」もしたが、「機結びが織物にどう関わるか」という説明がDVDにあると良かった。 ○桐生織の学習後にDVDを視聴した。児童一人一人に「機結びキット」を配るととても喜び、DVDを見ながら夢中で取り組んでいた。 ○機結びは難しかったが、体験ができたのはよかった。「今度家でもやってみよう」と話している子もいた。 ○総合の授業の中で、織物体験のDVDを見せながら機結び体験を行った。タペストリーについては、どのような織り方になっているのか実際に触らせて糸と糸との重なりを確認させた。 ○タペストリーは、学習後に廊下に掲示して、いつでも見られるようにしている。ODVD視聴の後にタペストリーを見せると、児童は本物を見て感動し、編み目の細かさを見て、「こんなのができるなんてすごい」と驚いていた。また、折り紙を縦糸と緯糸に見立てて織ってみたところ、自主学習でいろいろな織り方に挑戦した子もいた。  		

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
祇園屋台・鉾伝承活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や常設展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○祇園屋台等の修理及び一般公開 ・本町三丁目祇園屋台修理の実施 ※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により桐生祇園祭が中止となったため、修理に合わせ屋台の公開を行った。(公開日 令和2年11月1日(日)～3日(火)) ・本町3丁目が所有する桐生祇園屋台の67年ぶりの組み立てに際して記録保存のための測量調査を行い、平面図・立面図・断面図を作成した。 ○祇園囃子継承者の育成 ・練習会の実施(5回実施) ・発表会の開催(開催日 令和3年3月21日(日))			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・祇園屋台の組み上げ、修理ができる技術者の育成 ・祇園囃子の演奏者の育成と合わせ、指導者の育成も必要	
状況を示す写真や資料等			

●屋台公開の状況



正面



背面

屋台公開の状況

●祇園囃子の練習会・発表会の状況



練習生募集チラシ



練習会の様子



発表会の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。 指定・登録に該当するような文化財があれば事前に調査を実施し、記録保存も行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存については今後も実施していく。 (令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの催しが中止となった)	
状況を示す写真や資料等			



賀茂神社御簀神事



桐生和紙生産技術

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり推進啓発事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の歴史文化資産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を遂行できるまちづくり団体等の設立を支援する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・歴史的風致に関する内容の「歴史まちづくり動画」を市の公式YouTubeチャンネルで配信した。桐生市の歴史まちづくりの取り組みについて報告も含め、市の代表的な歴史的風致である「桐生祇園祭」の解説動画と「桐生新町伝建地区及び周辺整備事業」(評価軸③-6)に関連した、その周辺の今昔や歴史を紹介する動画を配信した。 ・織都桐生案内人の会と連携した、市民向けの歴史的風致散策ツアーを開催した。(11/8開催・約30名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後、人が集まる講演会のようなイベント実施は難しく、それに代わる方法を検討していく必要がある	

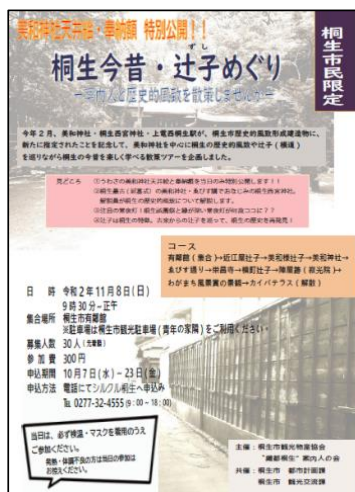
状況を示す写真や資料等



動画撮影の様子



歴史まちづくり動画(YouTube)



歴史的風致散策ツアーチラシ



散策ツアーの様子

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
「桐生を好きな子供」を育てる事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な活動体験を行い、郷土愛を育成する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、教育委員会及び市長部局の各部署、各学校及び幼稚園において実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業は、「歴史や文化遺産の体験事業」を33件、「史跡・歴史資料を作成する事業」を3件、「桐生の自然や文化についての資料を作成する事業」を6件実施した。 ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊びを実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する	
状況を示す写真や資料等		
 化石採取教室  門松作り教室  小中学校向け配布資料 「“ジュウデンケン” って、なに？」  図書館 桐生に伝わる民話を聞こう		

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域固有の歴史的資源である歴史建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物指定にむけて、候補となる建造物について、職員により簡易的な現地調査を行った。空き家・空き地バンクの相談件数は、物件提供と移住相談を合わせて300件程度の見込みである。空き家バンクについては内部の様子が分かるよう動画を配信した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	古民家へのニーズがある一方、所有者は家屋の老朽化や契約後のトラブル回避、空き家への愛着などから他人への提供に抵抗があり、該当地区の物件情報は増えない状況である。民間団体との連携による物件情報の収集や所有者への呼び掛け、サポートの実施など、活用に向けた取組みについて検討が必要と考える。		
状況を示す写真や資料等			
 歴史的建造物現地調査  空き家バンク動画配信 (YouTube)			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史文化基本構想等策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に存在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境を含めて総合的に保存・活用するための基本構想「歴史文化基本構想」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・黒保根地区内に分布する墓地、墓石、石造物等の悉皆調査の結果を「桐生市文化財調査報告書第41集-桐生市黒保根地区石造物調査報告書」にまとめた。また、地元の住民に調査の結果を還元する目的で「桐生市黒保根地区の石造物(仮)」を一般向けの平易な内容として編集し黒保根地区全世帯に配布した。 ・市史編さんについては、他市の市史編さん状況を例に、桐生市において必要となる経費や期間・組織体制について検討を行った。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・地域に存在する文化財を指定・未指定にかかわらず的確に把握するための調査の実施について検討する。 ・市史編さんのあり方(費用・期間・組織体制等)について具体的な検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			

桐生市黒保根地区
石造物調査報告書

2020

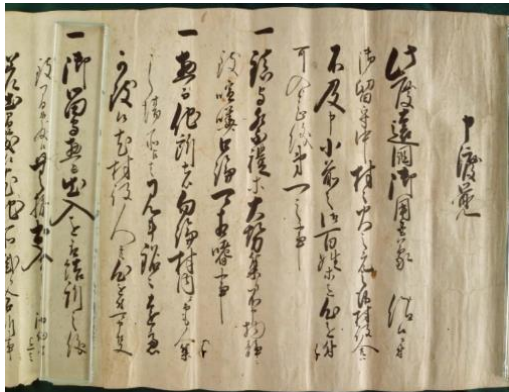
立正大学考古学研究室
桐生市教育委員会

桐生市黒保根地区の石造物

調査報告書及び内容の一部

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史文化資料公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・絹撚記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示の他、絹撚記念館の企画展として、「“ジュウデンケン” って、何？」展や「“百年前の桐生” ってこんな感じ?!」展を実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月、5月を休館とした。 ・桐生歴史文化資料館への運営費補助、企画展の広報きりゅうへの掲載(3回)及びふれあいメール配信(2回) ・桐生明治館において本市の歴史文化に係る資料の展示を行うほか、「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめ市内の近代化遺産の一斉公開等を実施した。 ・図書館所蔵の絵図面の複製及びデジタルデータの作成を行い、公開化を進めた。 ・郷土資料調査事業では川内町の調査を行い、白瀧神社の所在地でもあり、桐生織物の発祥とも所縁のある旧仁田山区の史資料調査に着手した。 ・幕末に桐生新町の町役人(組頭)を務めた、新居喜左衛門の役用日記の調査を進め、その成果として『新居喜左衛門役用日記(二)原文編』を作成・刊行する予定。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫しながら引き続き実施していきたい。	
状況を示す写真や資料等		
 「“百年前の桐生” ってこんな感じ?!」展 (絹撚記念館)  留守をする領主から名主に宛てて出された、 村への申渡状(旧下仁田山村 田村家文書) ●桐生歴史文化資料館企画展 「市制施行100年桐生の歩み」 期日 1月9日(土)～3月28日(日) ※月・火曜日は休館。 1月11日、2月23日は開館。 時間 午前10時～午後4時 場所・問い合わせ 桐生歴史文化資料館(本町二丁目、☎467246)  ショクラ・ノア(旧堀家住宅)内部公開		

広報きりゅう令和3年1月号

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
文化財案内標識整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和40年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市指定文化財 桐生倶楽部会館の登録文化財から市指定文化財への変更について文化財説明板の板面交換を実施。 ・黒保根町内の医光寺関係、関口文治郎関係の文化財案内導入板の新設及び修繕を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	優先順位を考慮しながら進めていきたい。		
状況を示す写真や資料等			



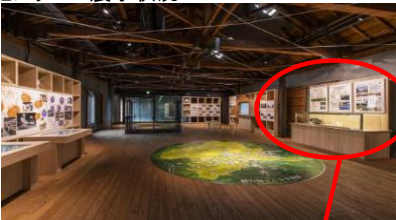
桐生倶楽部会館 市指定文化財説明板 板面交換



黒保根町内 文化財導入案内板 設置及び修繕

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
観光案内等情報提供事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業・地方創生推進交付金	
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区等を訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生新町伝建地区を中心にガイドを行う“織都桐生”案内人の会と共催し、歴史的風致形成建造物を巡るツアーや、桐生市の歴史や文化を再発見するワンコインツアーなどの自主企画ツアーを実施した。 ・観光情報の収集・発信を図る公民連携の観光まちづくりの拠点施設である桐生市観光情報センター“シルクル桐生”では、各種観光情報の発信や観光案内を実施した。 令和2年4月～12月の来館者数1,588人(令和2年4月19日～6月14日、12月19日～令和3年1月25日新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館) ・桐生市、足利市で立ち上げた協議会において、日本遺産を中心に両市の魅力を紹介する映像を作成し、SNSを活用して国内外へ向けて発信した。 ・群馬県立世界遺産センターにおいて、日本遺産の構成文化財(桐生市分6件)に関する展示を行った。 期間 令和2年9月1日～12月1日 展示期間中の世界遺産センターの入館者数 8,310名 ・日本遺産の構成文化財(桐生市分6件)の周知を図るため、市役所玄関ロビーにおいて、「日本遺産の日」展を実施した。 期間 令和3年2月1日～15日		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの影響により、観光大学や観光ガイドが実施できない状況である。	
状況を示す写真や資料等		
■ガイド実施状況  ■シルクル桐生 観光案内の様子  ■世界遺産センター 展示状況  2階「ぐんまの絹文化」コーナー  桐生市の展示 ■「日本遺産の日」展 展示状況 		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
文化財の保存又は活用の現況について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 適正な保存を図るため、本市では指定等された全ての文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「桐生市歴史文化基本構想」の策定を進め、適正な保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・有料観覧施設である絹然記念館では、桐生の歴史文化に係る資料の他、企画展なども開催している。また、有鄰館では、絵画や写真などの作品展や文化活動の発表の場とするなど、様々な催しを開催し適切に活用している。
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月、5月を休館とした。
 ・国、県、市の指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有・管理者あてに管理状況等の指導・確認を行った。
 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者宛に改善を依頼。
 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため管理施設の休館及び一部限定開館等の措置をとった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

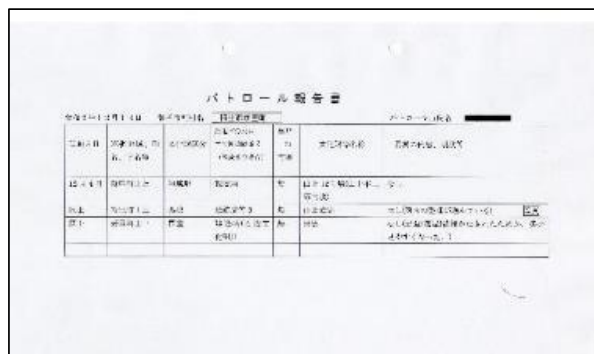
■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

・子供向けの企画やイベントなどの検討
 ・建物の活用について安全な公開方法等の対策を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



職員による文化財及び説明板の現地確認



群馬県による文化財パトロール報告書



有鄰館芸術祭の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の修理に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財ともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においてはこれまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重要文化財である桐生明治館では外壁塗装の老朽化により剥落が進んでいるため、文化財の保存管理の観点から、令和2年度において外壁塗装工事を実施した。 ・重要文化財彦部家住宅では、防災設備の経年劣化による破損が発見され補助事業にて修理工事を実施した。 ・市指定重要文化財の桐生倶楽部会館では、5ヶ年事業として外壁・開口部・屋根等の修理工事を行っている。本年度は2年目で南側外壁、窓・扉等の開口部、軒周りの修繕を実施しているが、修理方法・方針等、随時助言・指導を行った。 ・桐生市本町通りに建つ登録有形文化財金善ビルでは、東日本鉄道文化財団の助成を受け保存修理工事を実施するにあたり文化財保護課がその事務と修理指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定及び登録文化財の原状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく	

状況を示す写真や資料等



東日本鉄道文化財団の助成を受け登録有形文化財金善ビルの保存修理工事を実施。事務局の設置及び修理の指導を行う。



旧金谷家主屋の飲食及びギャラリーとしての活用のための保存修理工事を実施。事務局の設置及び修理の指導を行う。



桐生倶楽部会館 修理工事の技術指導を行う



桐生明治館 市職員及び専門技術者による現地指導

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝建地区では、火災発生の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線型住宅用火災警報器の作動試験と合わせ火災を主とした防災アンケートを実施した(作動試験、アンケートは新型コロナウイルスの感染が拡大したため調査途中で中断)。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識向上のための防災訓練を企画したが、新型コロナウイルスの感染が拡大したため中止とし、代わりに、災害に対する心構えや備えなどをテーマとしたチラシを作成し配布した。 ・令和2年度文化財防火デーに係る鳳仙寺防火訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止となった。 ・重要文化財旧群馬県衛生所・彦部家住宅も防火訓練は中止となった。両施設とも設備点検の際に機器の不具合が発生したことも訓練中止の要因であり、現在修理計画中である。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。 ・ある程度困難な状況下でも、防災訓練の実施方法等考慮・検討し、緊急時にも対応し得る体制作りが必要と考えられる。		
状況を示す写真や資料等			
 			
伝建群だより(防災特集号)			
			
桐生明治館 消防設備の点検		彦部家住宅 防災機器の点検・維持管理	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容 文化財の保護に対する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることができるよう取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・重伝建地区について、子供達にも興味をもってもらえるため、絹襷記念館の企画展として実施した、「“ジュウデンケン”って、なに？」展の内容を小中学生向けに編集した資料(冊子)を作成し、市内の小中学校にCDで配布した。 小学校 17校 ・中学校 10校 ・私立中学校2校 ・毎年10月20日の「近代化遺産の日」記念事業として全国的に近代化遺産一斉公開を行っている。令和2年度は市内各所で活用されている鋸屋根工場をはじめとする近代化遺産を紹介し、買物や食事、染織体験等を通じて、文化財施設の周知・活性化を目指した。 ・講座事業については、生涯学習施設・教育施設、要望により、市の文化財を広く紹介するなど「出前講座」として実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	近代化遺産の日記念事業は、新型コロナウイルス感染防止対策として当初計画よりも大幅な規模の縮小となったが、一応の評価が認められた。	
状況を示す写真や資料等		
 「ジュウデンケンって、何？」展 (絹襷記念館)  近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開IN桐生 森合資会社  近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開IN桐生 株式会社笠盛ファクトリーショップOOO(TRIPLE O)  出前講座 資料(埋蔵文化財)		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
「新市史編さんに協力」文化史談会 理事会で事業計画決定	令和2年6月23日	桐生タイムス
新・市史編さん 課題を提起 桐生文化史談会 問題点など会誌に寄稿	令和2年6月24日	桐生タイムス
「繊維のまち」売り込め 桐生のマスク製造	令和2年6月29日	上毛新聞
「来年は盛大に」ひっそりと神事 縮小の桐生祇園祭	令和2年7月25日	桐生タイムス
大正期の薫りに愛着 登録文化財「金善ビル」保存修理前に見学会	令和2年8月29日	上毛新聞
えびす講「やろう」異例の7日間分散で	令和2年9月2日	桐生タイムス
6月オープンの富岡「セカイト」で 桐生の日本遺産、トピックス展示	令和2年9月4日	桐生タイムス
繊維産業の担い手育成 繊維大学開校式	令和2年9月16日	上毛新聞
「明治館」外壁修理始まる 工事中も「開館します」	令和2年9月23日	桐生タイムス
洋装生地の魅力 原宿で10社PR 桐生織物協組が見本市	令和2年10月9日	上毛新聞
桐生織 海外向け開発 中国人デザイナーと共同で	令和2年10月14日	上毛新聞
祇園祭の魅力 動画で 市が撮影配信へ	令和2年10月14日	上毛新聞
本三祇園屋台 約60年ぶりに威容現す	令和2年10月12日	桐生タイムス
美和神社天井絵に感嘆の声 「辻子めぐりツアー」で特別公開	令和2年11月10日	桐生タイムス
近代化遺産 桐生の31件一斉公開	令和2年11月12日	桐生タイムス
「疫病退散」「商売繁盛」えびす講始まる 参拝客はマスク姿	令和2年11月14日	桐生タイムス
ユーチューブに桐生祇園 桐生市が公開	令和2年12月24日	桐生タイムス
桐生織に理解深めて 各小にDVDや体験キット	令和2年12月28日	上毛新聞
子供向け「重伝建」パンフ 絹燃記念館など、CDで配布	令和2年12月30日	桐生タイムス
歴まち建物のPR開始 桐生市がキノピー動画で	令和3年1月25日	桐生タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナの影響により様々な行事や事業が中止となってしまった。しかし、その中でも、なんとか絶やすまいと、縮小開催や工夫を凝らしながら継続実施されたものも多くみられた。今後のコロナ禍で、インターネットや動画を用いるなどといった、新しい時代に則した開催方法の模索も垣間見えた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も引き続き、コロナ禍でもできる事を模索しながら、歴史まちづくりへの関心や理解を高めるための情報提供や情報発信に努める。

状況を示す写真や資料等



「来年は盛大に」
縮小の桐生祇園祭
ひっそりと神事
疫病退散など祈り込めて
令和2年7月25日付
桐生タイムス



えびす講始まる
令和2年11月14日付桐生タイムス



ユーチューブに桐生祇園
桐生市が公開
令和2年12月24日付
桐生タイムス



歴まち建物のPR開始
桐生市がキノピー動画で
第1弾は織物記念館
令和3年1月25日付桐生タイムス

		評価対象年度	令和2年度
項目			
“織都桐生”案内人の会との連携について			
計画に記載している内容	文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協働による保存活用を図るとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
“織都桐生”案内人の会は桐生の観光ガイド組織として発足し、会員は50名以上を数えている。 歴まち認定後には、関係を固りながら、歴史的風致形成建造物をコースに組み込んでもらう他、散策と講演会をセットにした企画(R1)や歴史的風致を巡る散策ツアー(R2)を共催してきた。特にツアーは、募集当日に定員オーバーするほどの好評を得ている。 また、会では、市民を対象に設定期間中の希望日を選べる桐生歴史散歩ツアーや市制施行100周年記念企画ツアー、その他歴史を絡めた多くの自主企画ツアーを継続的に実施するなど活発な活動を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		引き続き、案内人の会関係者とも連携、情報交換を行いながら、歴史的風致の維持向上につなげていくための企画を検討していく。	
状況を示す写真や資料等			



歴史的風致を巡るツアーの様子



令和2年10月16日付桐生タイムス



ツアーチラシ

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 3月(書面開催)	
(コメントの概要) ・伝統的建造物公開活用については、他の公開施設(群馬大学同窓会館、桐生歴史文化資料館、まちなか交流館、桐生織物会館、絹撚記念館等)の役割を考えた上で内容を詰めた方が良いと考える。 ・改正文化財保護法では、文化財の保存・活用に取り組む民間団体を市町村が文化財保存活用支援団体に指定できるようになった。これを受け、民間団体等との連携を強化する中で、支援団体への指定をどのように考えているのか追記して欲しい。 ・歴史的風致形成建造物指定済みも含めてその管理者・所有者の意識改革が必要。登録文化財の一部には見るに堪えない建造物もある。一度登録されると、標識やプレート等が掲示され、朽ち果てそうな建物に誇らしい表示は虚しい限りで、外部からの参観者に落胆されないように配慮する必要がある。 ・整備している藤棚広場も、人の入込が少なかったので荒れてしまったと思われるので、引き続き魅力付けを研究して行く必要があると思う。 ・内閣府が進める「歴史的資源を活用した観光まちづくり」のような1つで2～3分野にまたがる事業を期待したい。 ・指定した歴史的風致形成建造物(旧細谷家住宅、桐生絹織)について、指定に値する建造物と同意したが、現地で未だ確認できていない。公共性のある周知の建造物と異なり、両者ともに敷居が高そうで近寄りがたい存在。今後の指定を含めて見学会など計画していただければと要望する。 ・そもそも本協議会は、所管の異なる縦割り組織によって個々に実施されている事業に対して意見を述べる立場にあるのかどうかははっきりしない。「桐生歴史まちづくり協議会」の諸事業に対する権限の及ぶ範囲はどこまでなのか、あるいは諸事業に対して本協議会はどのような位置付けになるのか。委員に何を求め、その意見をどう活かそうとしているかが不透明である。	
(今後の対応方針) ・各事業の実施にあたっては、他の施設や部署を超えた横のつながりを意識して進めていく。 ・改正文化財保護法も意識しながら、文化財の保存活用に対応していく。 ・本協議会の位置付けをより明確に、有益な意見を頂戴できるよう見直していく。 ・本評価を各事業の見直しの機会と捉え、協議会での意見を踏まえ、庁内での調整を図り各事業を積極的に推進していく。	